



2020年9月25日

各 位

会 社 名 日本精化株式会社
 代表者名 代表取締役 矢野 浩史
 執行役員社長
 (コード番号4362 東証第1部)
 問合せ先 経営企画室長 大倉 善弘
 (TEL. 06-6231-4781)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、2020年4月28日に公表した2021年3月期第2四半期累計期間および通期の業績予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

記

2021年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2020年4月1日~2020年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	13,500	1,350	1,500	1,000	42.11
今回発表予想 (B)	14,200	1,850	1,950	1,300	54.74
増減額 (B-A)	700	500	450	300	
増減率 (%)	5.2	37.0	30.0	30.0	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2020年3月期第2四半期)	14,274	1,654	1,810	1,176	49.53

2021年3月期通期連結業績予想数値の修正(2020年4月1日~2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	27,500	2,800	3,100	2,000	84.22
今回発表予想 (B)	29,000	3,600	3,850	2,550	107.38
増減額 (B-A)	1,500	800	750	550	
増減率 (%)	5.5	28.6	24.2	27.5	
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	29,047	3,641	3,920	2,621	110.37

修正の理由

第2四半期累計期間の連結業績予想は、新型コロナウイルス感染症拡大により、2020年4月28日に業績予想を公表した際に想定した通り、工業用製品事業は、化粧用機能原料や汎用工業用原料などの販売が低調に推移しておりますが、一方で、家庭用製品事業は、感染症対策製品の販売が当初予想より伸長する見込みです。以上の結果、営業利益と経常利益および親会社株主に帰属する四半期純利益が当初予想を大幅に上回る見込みとなりました。

また、通期連結業績予想は、第3四半期以降、日本および世界各国で、新型コロナウイルス感染症拡大防止と経済活動の両立を図っていく見通しが強まる中で、当社では、当初の想定以上に、工業

用製品事業での販売状況に改善が見込まれることと、家庭用製品事業では、引き続き感染症対策製品への需要増が継続し、業績への寄与が見込まれることから、業績予想を修正しております。

※上記の予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上